

森林インストラクターの森活動報告（ヒノキの間伐）

2020年11月8日（日）晴れ

参加者：河野、横山、星野、近江、本田、辰尾、服部（7名）

報告者：服部保典

11月に入りましたが、比較的穏やかな暖かい中での作業となりました。私自身は都合により参加できない日が続き、久しぶりに森林インストラクターの森に足を運びました。

本日はヒノキの間伐を行います。

記録によると森林インストラクターの森に、ヒノキが植えられたのが平成14年。それから地元小学生と植樹をしながら今年で18年目となります。

すくすくと育ったヒノキは、みんな大きくなれば良いのですが、残念ながら狭い森ではひしめき合ってしまう、みんな大きくなってくれません。なので、成長の良くないヒノキは、間伐し、広く明るい森にし、残されたヒノキを大きく育てていきます。

間伐のほか森の中で役に立つ技術に、ロープワークがあります。今回は河野さんにご教示いただき、基本的なもやい結びのほか、ロープの束ね方や間伐の際に倒す木にかける方法などを学びました。とはいえ、使わないと忘れてしまいそうなので、学んだ技術は使いながら、頭でなく体に覚えさせるのが重要です。

さて、ロープワークの実践もかねて間伐の開始です。手鋸での作業なので時間がかかりますが、何とか怪我無く作業を終えました。（ロープのおかげで木に掛かっても引きずり倒すことができました。）

これからも間伐を進めてヒノキが大きくなっていく事を期待しています。

また、前回、森林インストラクターの森にシモバシラを植栽した結果、根付いたようです。

冬になり、枯れると茎だけが残り、水を吸い上げてシモバシラができる不思議な植物です。こちらの観察も楽しみです。



もやい結び



シモバシラ（シソ科）



なめこ、しいたけ（原木試験栽培）



間伐風景（枝打ち）